

京の大人の英知、注入マガジン

京都 CF!

[シー・エフ]

BACK ISSUES

お近くの書店でお求めになれない場合、ご希望の号数と部数をお電話もしくはファックスにてフェイム事務局までお申し込み下さい。在庫の確認をさせていただきます。その後、代金と送料を切手でお送りいただければ、到着し次第ご送付いたします。ホームページからもお申し込み頂けます。

こつそり部屋の本棚におきたくなるバックナンバーです。

No.266

2006.2月号

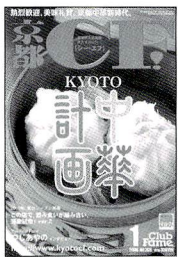


特集
おいしおす。京都
ラーメン・カレー・お肉

定価500円
(送料108円/1冊の場合)

No.265

2006.1月号



特集
KYOTO
中華計画

定価350円
(送料100円/1冊の場合)

No.264

2005.12月号



特集
テンプル・スイーツ
シュライン・チーブレイク

定価350円
(送料100円/1冊の場合)

No.263

2005.11月号



特集
お人に贈ろうと思うより
今すぐ自分が欲しくなる
京のお仕立て

定価350円
(送料100円/1冊の場合)

年間定期購読

1年間分の「京都CF!」を銀行引き落としにて、4,200円(内、消費税200円)で予約購読していただけます。お電話もしくは巻末ハガキにてご連絡ください。改めてお申し込み用紙をお送りいたします。

フェイム事務局

〒604-8134 京都市中京区六角通烏丸東入ル 大輝六角ビル2F
TEL. 075-256-7558 FAX. 075-256-7557

ホームページからもお申し込み頂けます。

<http://www.kyotocf.com>

第三十二幕「上七軒」編

鳴原司の こつたい 花語り

太夫とは？

「正五位」の別称で、歌舞音曲の他、茶・華・香・歌など公家や武家の奥方同様の知識を持った芸妓と与えられた妓女の最高位のこと。現在は8花街のうち京都・嵯原のみに4人現存し、司太夫はその内のお一方。中学卒業後祇園甲部で舞妓となり、6年間務めその後太夫への道に進む。芸事その他、日本画・写真・手話を勉強し、フリーペーパー「こつたい新聞」の発行やイベント企画など活動の場は広い。

京の花街
北の座敷は
上七軒



Tsukasa

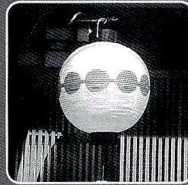


「上七軒」で聞いてどのくらいの人を知っといやすかなあ。北野の天神さんの横にある上七軒は五花街の中では「一番古い」と言われてますけどこれは間違い。茶屋株を許可されたのが古いんです。「花街」と許可されたのが寛政2年(1790年)、祇園とかと一緒に。ただ茶屋をしだしたんは、天神さん造営の折り、残りの木を使うて七軒の茶屋を作らばって言われてるしほんま古おすねえ。

秀吉さんが大茶会をしはって、茶屋でみたらし団子を接待されたいそう喜ばはった。ほんでこの地に茶屋株を許可しはったんです。それもある、上七軒のシンボルマークはお団子2串が交差してんのどっせ。

芸妓さんの起源としては、天神さんへ参拝に来はるお客さんを相手にしていた茶店の「茶汲み女」が芸妓に発展していくのどすけど、この形は他の四花街と一緒に。ちよっと違うのは、天神さんの「巫女」が年いって「茶汲み女」になった…いうことどすやろか。

現在、お茶屋10軒、芸妓・舞妓25人と少のおすけど、ここは少数精鋭。立方も地方も(注1)できなあかへん。お芝居も上手。「芸処 上七軒」の名は健在です。



司事務所
075・594・0568
<http://kyoto.cool.ne.jp/tukasa21>

※注1：立方＝舞を舞う、地方＝三味線を弾く



京都 CF!

京の大人の英知、
注入マガジン
[シー・エフ]

を創りたい人、
募集中!

現在、「京都CF!」では、編集制作のアシスタントをして下さる方を募集しています。「京都CF!」が好きな方、京の街を遊びまわるのが好きな方、原稿を書きたい方、雑誌編集に興味がある方、ぜひご応募下さい。

私たちと一緒に「京都CF!」を創ってみませんか？

まずは郵送にて「履歴書」をお送り下さい。

●問い合わせ先
京都CF! 編集部
アシスタント募集係 担当：坂東(はんどう)

〒604-8134
京都市中京区六角通烏丸東入ル 大輝六角ビル2F
E-mail:bando@m21.or.jp

※今回の募集は社員募集ではありませんのでご了承ください。

※電話での応募・ご質問は受け付けておりませんのでご了承ください。